

02

推薦入学者選抜

検定料 各35,000円

募集人員

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群 フライト・オペレーションコース除く	健康福祉学群	芸術文化学群
233人	32人	90人	72人	93人

出願条件

選抜方式		出願条件
指定校制推薦入学者選抜 地区会場あり	専願	桜美林大学の指定校基準に基づき、指定された高等学校の学校長により推薦された者。 ※桜美林大学の指定校に該当するかは高等学校に確認してください。
公募制推薦入学者選抜		学校長から推薦を受け、2019年3月までに卒業見込みの者、または2018年3月以降に卒業した者で、以下の出願資格を満たす者。 ※詳しい出願資格については、専用の『学生募集要項』で確認してください。
一般(F推薦・S推薦)	専願	F推薦 = 普通科出身者対象 S推薦 = 専門教育を主とする学科、総合学科、専修学校高等課程出身者対象
リベラルアーツ学群		全体の評定平均値が 3.3 以上の者。または全体の評定平均値が 3.3 未満の者であっても、下記の指定の資格いずれか1つを有する者。
ビジネスマネジメント学群		
健康福祉学群		
グローバル・コミュニケーション学群		外国語の評定平均値が 3.5 以上、かつ全体の評定平均値が 3.3 以上の者。またはいずれの評定平均値が上記の基準未満の者であっても、下記の指定の資格いずれか1つを有する者。
芸術文化学群		全体の評定平均値が 3.0 以上の者
一般(併願推薦)	併願	他大学と併願して出願することができます。
リベラルアーツ学群		全体の評定平均値 3.8 以上の者
グローバル・コミュニケーション学群		
ビジネスマネジメント学群		
健康福祉学群		全体の評定平均値 3.5 以上の者
芸術文化学群		全体の評定平均値 3.3 以上の者

- 実用英語技能検定準2級
- TOEFL iBT® 34点
- TOEIC® L&R 420点
- 国連英検 C級
- 日商簿記 2級
- 全商簿記 2級
- 全経簿記 2級
- 全商情報処理 [ビジネス情報部門 1級]
- 全商情報処理 [プログラミング部門 1級]

- 実用数学技能検定 2級
- 日本語検定 3級
- 漢字検定 2級
- 情報検定 (J検:情報活用試験 2級)
- パソコン利用技術 2級
- 情報処理技術者試験
(ITパスポート又は上位スキルレベルのもの、従前の試験区分における初級シスアドや基本情報技術者等を含む)
- ICTプロフィシエンシー検定試験(P検)2級

- 実用英語技能検定準2級
- TOEFL iBT® 38点
- TOEIC® L&R 430点
- GTEC (3技能版) 500点
- GTEC CBT 700点

選抜方法

審査の過程における 合否判定の方針

推薦入試の主旨に照らして調査書、取得資格、推薦書ならびに面接の結果等から、志望学群における学習の適性に関し、総合的な観点から審査します。

指定校制推薦入学者選抜 ▶ 書類審査+面接(課題図書を課している学群は内容理解度を含む)
公募制推薦入学者選抜 ▶ 書類審査+志望理由書+読書レポート+面接(課題図書を課している学群は内容理解度を含む)

日程	指定校制推薦入学者選抜 (地区会場)	指定校制推薦入学者選抜	公募制推薦入学者選抜 一般(F推薦・S推薦)/一般(併願推薦)
出願登録 (インターネット出願)	9/21(金)～9/28(金) 最終日は正午(12時)まで	10/26(金)～11/1(木) 最終日は正午(12時)まで	10/26(金)～11/1(木) 最終日は正午(12時)まで
検定料支払	9/28(金)	11/1(木)	11/1(木)
	出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。		
出願書類提出期限	9/28(金) 消印有効	11/1(木) 消印有効	11/1(木) 消印有効
デジタル受験票 発行開始日	10/24(水) 15時から順次発行	11/9(金) 15時から順次発行	11/9(金) 15時から順次発行

主な出願書類 ※このほかにも出願書類があります。詳しくは専用の「学生募集要項」を確認してください。

[指定校制推薦]

- ① 高等学校の調査書
- ② 推薦書
- ③ 志望理由書(GC学群のみ)

※芸文学群はこのほかにも書類があります。P.03を確認してください。

[公募制推薦]

- ① 高等学校の調査書
- ② 推薦書
- ③ 志望理由書
- ④ 読書レポート(LA学群、GC学群、BM学群、健福学群)

※芸文学群はこのほかにも書類があります。P.03を確認してください。

課題図書(指定校・公募・社会人・編入(沖縄地区)共通)

学群	課題図書
リベラルアーツ学群	①『人工知能と経済の未来—2030年雇用大崩壊』井上智洋(文春新書) ● 左記2冊から1冊選択のこと ②『昆虫はすごい』丸山宗利(光文社新書) ●
グローバル・コミュニケーション学群	①『目の見えない人は世界をどう見ているのか』伊藤亜紗(光文社新書) ● 左記2冊から1冊選択のこと ②『A Short History of Progress』Ronald Wright(Da Capo Press) ●
ビジネスマネジメント学群	①『第4次産業革命! 日本経済をどう変える。』竹中平蔵(PHPビジネス文庫) ● 左記2冊から1冊選択のこと ②『それ、なんで流行ってるの? 隠れたニーズを見つけるインサイト思考』原田曜平(ディスカヴァー・携書) ●
健康福祉学群	『人権読本』鎌田慧(編著)(岩波ジュニア新書)

公募制推薦「読書レポート」について

各学群指定の課題図書を読み、全体の内容を要約した上で、特に印象に残った点に触れながら、自分の考えや感想を600～800字程度で論じてください。※雑誌やインターネット等に掲載されている書評の一部または全部を書き写した場合は、評価対象とはしません。

試験日	札幌、名古屋、福岡 10/27(土)	11/18(日)	11/18(日)
	那覇 10/28(日)		
合格発表日	11/2(金)	11/26(月)	11/26(月)
入学手続 締切日	11/9(金)一括納入	12/5(水)一括納入	一般(F推薦・S推薦) 12/5(水)一括納入
			一般(併願推薦) 一次(入学金)12/5(水) 二次(入学金以外の春学期納入金)2/20(水)

面接

- LA学群、BM学群、健福学群の面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は10分です(健福学群の公募制推薦は15分)。面接では本学への志望動機、入学後の学習活動、出願書類の内容をはじめ、受験者自身が書いた読書レポートや課題図書の内容についても質問をします。
- 芸文学群の審査方法はP.03を確認してください。
- GC学群の面接方法はP.04を確認してください。

地区会場

- 地区会場の面接は、Web面接となる場合があります。詳しくは専用の「学生募集要項」を確認してください。



芸術文化学群の審査方法について

AO入学者選抜(第1回、第2回)、公募制推薦入学者選抜はインターネット出願時に「実技型」・「作品審査型」または、「小論文型」のいずれかを選択してください。

選抜方式	専修	審査方式	芸文のみの主な出願書類	審査内容
AO (第1回、第2回) 公募	演劇・ダンス	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	演劇 [実技と面接] グループ構成で課題に沿った集団創作と発表。オーディション形式のグループ面接審査。動きやすい服装とシューズを持参すること。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
		ダンス		ダンス [実技と面接] 短い振り付けによる技術力審査。オーディション形式のグループ面接審査。着替え持参、シューズ不要。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)	
	音楽	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	声楽、ミュージカル(歌)、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器(撥弦楽器を含む)、パイプオルガンのいずれかを選び任意の一曲を演奏する。さらに面接を課す。大学側で用意する楽器はピアノ、コントラバス、ハープ、マリンバ、パイプオルガン。ほかの楽器は持参すること。 伴奏者の同伴、または伴奏としてのCD 持ち込み可。 また、楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する者は、自身が作曲した音楽作品(5分程度)をCDに録音したもの、およびその楽譜を持参することで演奏審査に代えることができる。 実技審査と面接合わせて15分。
		小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	「活動報告書(芸文版)」*1	試験当日、自分の制作した作品一点(美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等)を持参する。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3～5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて15分。 なお、映像、アニメ作品等の収録時間は3分以内とし、再生用のPCは持ち込みとする。
小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)		
AO(地区)	演劇・ダンス 音楽 ビジュアル・アーツ	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
指定校				
留学生				
社会人				
編入*3	演劇、音楽 造形デザイン、映画			

※1 「活動報告書(芸文版)」は現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。

※2 「小論文」については、「芸術と社会」をテーマとして自分の考えを800字以内でまとめ、他の出願書類と一緒に提出してください。

※3 編入学者選抜は、※2の小論文に加え、試験日当日に「課題テーマ型の小論文」を課します。

[注意事項]

●志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。

●面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇・ダンス専修の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は筆記試験のみとなります。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は、第2志望の専修まで出願可能です。



グローバル・コミュニケーション学群の 面接方法について

GC学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。

面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

「AO入学者選抜」「推薦入学者選抜」では、課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○:面接で必ず使用する言語 △:面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※1	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英語	中国語	備考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	
	英語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※1 「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

[注意事項]

●面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。